授業科目名	社会学と社会システム	単位数	2
担当教員名	竹田　久美子	担当形態	単独
実務内容 （実務家教員の場合）			

「学位授与の方針」との関係

問題が生起する現場において、専門知や統合知を使い、解決のために実践しようとする気概を持つこと。

共生社会創造の目的のために、絶えず学び続ける意欲を持つこと。

授業の到達目標及びテーマ

　社会の成り立ちや仕組み、個人と社会の関係、個人が抱える生活問題とその社会的背景について学ぶ。社会学的な視点を通して社会と個人の関係を包括的かつ体系的に理解できる力を養うことを目標とする。

１．社会学とはどのような学問であるのかを理解し、社会学的な分析や観察の視点を持つことができる。

２．現代社会の成り立ちと社会変動について理解できる。

３．自己と他者の相互作用について理解し、人間の社会化や親密性の問題について理解できる。

４．人々の生活を支える地域社会と市民社会の概念について理解し、現代社会が抱える問題について考察できる。

授業の概要

　日本は人口構成の大きな変化の中で社会全般が新たな段階へと進んでいく変化の中にいる。現代社会の抱える問題を理解し、将来の社会を予測、構築していくためには社会の成り立ちや社会システムについての理解が不可欠である。社会学を基礎として社会構造や社会変動、社会を構成する集団や組織について学び、現代社会が抱える問題について理解すると共に近年のグローバリゼーションの流れや人口問題、環境問題についても考究する。また、人々の生活を支える地域社会の概念や地域社会が抱える問題、市民社会と公共性の問題、家族、労働、自己と他者の相互作用についても学修する。

授業計画

第１回：社会学とは何か：社会学の歴史と対象

第２回：社会システムと社会集団

第３回：社会変動：①近代化、産業化、情報化

第４回：社会変動：②人口構造の変化と社会――人口減少と超高齢社会

第５回：社会変化と共生社会：グローバル化とエスニシティ、気候変動と環境破壊

第６回：自己と他者：①社会的自我と役割取得

第７回：自己と他者：②現代社会におけるコミュニケーション

第８回：地域社会：コミュニティの概念と地域社会の問題

第９回：市民社会と公共性：①社会政策と社会問題

第１０回：市民社会と公共性：②差別と偏見

第１１回：家族とジェンダー：①家族の概念と家族の変化

第１２回：家族とジェンダー：②男女共同参画社会と子育て、介護

第１３回：労働：①女性の活躍とワークライフバランス
第１４回：労働：②現代社会が抱える労働問題
第１５回： ライフステージと世代
定期試験

教科書
最新社会福祉養成講座、精神保健福祉士養成講座３『社会学と社会システム』中央法規出版
（ISBN978-4-8058-8233-7）

参考文献
『社会学と社会システム』学文社　（ISBN978-4-7620-3082-6）

学生に対する評価
レポート評価（５０％）、科目修得試験（５０％）を総合して評価する。